

ブロックチェーンの必要性

deidra-JP

<https://github.com/deidra-JP>

<https://twitter.com/home?lang=ja>

概要

様々な分野での活用が始まりつつあるブロックチェーンが、インターオペラビリティによってシステム同士が連携し合う事により、「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」を、全ての日本人が享受できる国家の基幹システムを構築する。

1. イントロダクション

「健康で文化的な最低限度の生活」がどこからなのか。貧困には「絶対的貧困」と「相対的貧困」の2つが定義されており、世界の189ヶ国が加盟する世界銀行が定めた「国際貧困ライン」では、1日1.9ドル以下の生活をしている人が「絶対的貧困」とみなされ、2015年の段階で世界で約7億3600万。日本を含む先進国が抱える貧困が「相対的貧困」であり、国や地域の水準など、総ア知的な基準で比較して、大多数よりも貧しい状態のことを指す。日本では月額で約10.2万円程、OECD経済審査報告書（2017）では人口の15.7%。約6人に1人が「相対的貧困」となっている。税金を引いたうえで、この「相対的貧困」から抜けていることが、「健康で文化的な最低限度の生活」であると考ええる。そしてこれは生活保護によってではなく、全ての日本国民の労働者に対して与えられるべきである。